

第9回 長野県移動性・安全性向上検討委員会 議事要旨

開催日時：平成24年7月27日(金) 15:30～17:30

開催場所：長野国道事務所 会議室

<議事次第>

- 1 開催あいさつ
- 2 委員紹介
- 3 議 事
 - (1) 本取り組みの概要
 - (2) イライラ箇所・ハラハラ箇所の進捗状況
 - (3) 今後の渋滞対策の推進
 - (4) 主要渋滞箇所の考え方
 - (5) 主要渋滞箇所の候補
 - (6) パブリックコメントの実施方針



(委員会の様子)

<委員の了承>

- (社)長野県トラック協会、国土交通省北陸信越運輸局・長野運輸支局が新たに委員に追加された。
- 人事異動等により、信越放送、長野県警察本部、長野県建設部・道路建設課長、道路管理課長、都市計画課長、中日本高速道路八王子支社、国土交通省飯田国道事務所、長野国道事務所の委員8名が変更された。

<議事>

- =説明・意見・質問・要望
- =回答

(1) 取り組みの概要、イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況

- イライラ・ハラハラ箇所の進捗状況は、情報公開されているのか。
 - 事務所のHPや、地域で事業の状況を説明する場等で適宜行っている。
- 対策が完了し経過観察の箇所について、経年調査は行うのか。また、いつ経過観察から除外するのか。
 - 特に経年で効果分析は行っていない。また、評価済扱いについては、今まで議論されてこなかった、今後検討が必要。

(2) 今後の渋滞対策の推進、主要渋滞箇所の考え方

- 高速道路に関する渋滞箇所について、観光地等での休日特性は考慮しないのか。行楽シーズンの上信越自動車道の新潟へ向かう方は渋滞している。
- 高速道路について、今回の抽出では、休日、平日ともに渋滞に該当する平均旅行速度 40km/h 以下の箇所はなかったため、抽出されていない。

(3) 主要渋滞箇所の候補、パブリックコメントの実施方針

- 以前の委員会でも、イライラ箇所を交差点にするか、区間にするかの議論があり、区間になった経緯がある。今回は、交差点で箇所を抽出しているが、複数交差点が連続する場合などは、区間のほうがわかりやすいのではないか。
- 課題としては、交差点単位で整理を行い、対策を考える段階で交差点が連担しているなら、区間単位にすることも考えられる。

- パブリックコメントの際、渋滞ポイントの定義や順位を参考資料としてつけなくて良いか。
- パブリックコメントの目的は、データから抽出した渋滞ポイントと、道路ユーザーの実感との乖離を確認することと考えている。

- 実感がない箇所として複数の回答に上げられれば、109 箇所から除外する対象になるのか。
- 複数の意見があった場合は、その取扱いについて、委員会で議論いただきたい。

- パブリックコメントで渋滞ポイントとして新たに挙げられた交差点については、再調査するのか。
- 現在のところ、再調査することは考えていない。頂いた意見の反映方法については、この委員会で議論いただきたい。

- これまでに抽出要因が渋滞として、選定されている箇所は、今回データから抽出した 109 箇所に含まれているか。
- 40 箇所のうち、対策が完了した 4 箇所を除く 36 箇所は今回抽出されている。

- 積雪や災害・気象条件でのイライラ 20 箇所については、パブリックコメントで聞かないのか。
- 今回のパブリックコメントは、渋滞対策の推進という観点のため、20 箇所は対象外としている。

(4) 今後の検討の流れについて

- パブリックコメントの実施方針については、委員長に一任し、後日各委員に報告としたい。(委員了承)